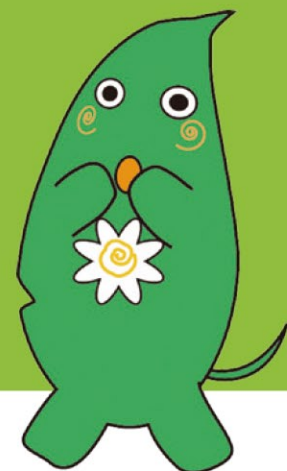


わが家の安全チェック



突然起こる災害に備えて、普段から家の内外の安全対策を進めましょう。

屋外

住宅の耐震性に不安がある場合は耐震診断*を行い、補強などを実施するようにしましょう。

*1981(昭和56)年5月31日以前に建てられた住宅は耐震性が低いおそれがあります

✓ここもチェック!
ブロック塀・フェンス

破損やひび割れ、ぐらつきを確認しましょう。

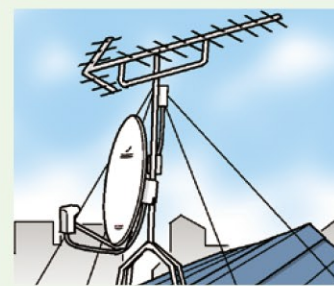
✓ここもチェック!
ベランダ

常に整理しておきましょう。

✓ここもチェック!
プロパンガスボンベ

しっかりと固定しましょう。

■ 屋根・アンテナ



屋根にひび割れ、ずれ、はがれがあれば補強しましょう。アンテナのぐらつきを確認しましょう。

■ 窓ガラス



飛散防止フィルムを貼りましょう。

■ 玄関まわり



避難しやすいように常に整理しておきましょう。

■ 集合住宅での安全対策

非常扉 扉前には、危険物や避難の妨げになるようなものは置かないでください。
防災設備 通路などに設置されている防災設備(消火器や火災報知機など)の場所を日ごろから確認しておきましょう。

屋内

地震時のケガの原因は家具などの転倒によるものも多く、室内の散乱は逃げ遅れの原因にもつながります。家具の配置や固定具合を見直し、安全対策に努めましょう。

✓ここもチェック!
支え棒

背の高い家具や本棚は、L型金具や支え棒などで固定しましょう。重い物は下に、軽い物は上に収納しましょう。

ここもチェック!

✓ 出入口や就寝位置と重ならないように家具を配置しましょう。

✓ここもチェック!

カーテンや寝具などは、防災加工されたものを使用しましょう。

✓

家具の上に割れやすい物を置かないようにしましょう。

✓ここもチェック!

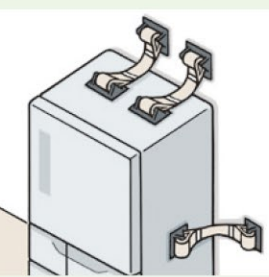
ガラスの破片などが危険なため、履物を用意しましょう。

✓ここもチェック!

家具の下に転倒防止ストッパーを置きましょう。

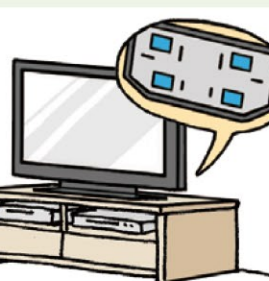
✓ここもチェック!

■ 冷蔵庫



ベルト式ストッパーなどで固定しましょう。

■ テレビ・パソコン



低い位置に置き、耐震粘着マットなどで固定しましょう。

■ 暖房機器



周囲に燃えやすい物を置かないようにしましょう。

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷きましょう。扉にはストッパーを、ガラスには飛散防止フィルムを貼りましょう。

- 木造住宅耐震診断費補助金制度
 - 木造住宅耐震改修工事費等補助金制度
 - 家具転倒防止器具取り付け支援事業
 - マンション耐震診断補助金交付制度
 - 不燃化・バリアフリー化改修工事費補助金制度
- についての お問い合わせは

大和市 街づくり施設部 建築指導課(市役所4階)

TEL 046-260-5425
FAX 046-264-6105